

レンコンをはじめとする農産物、地元の商工業など地域に根付いた産業は、それぞれが付加価値高く、新たなチャンスを生み出すことで、まちが誇る伝統を次代へとつないでいきます。

# まちの産業を守る。それは、知恵を集め、工夫を重ね、挑戦を続けていくこと。

## 濃尾平野の恵みを地域ブランドへ

### 木

曾三川の流が生んだ濃尾平野の肥沃な土壌を背景に、さまざまな農産物がつくられている愛西市。栽培技術、生産性を高めるとともに、付加価値の高い農産物へと育てるための農産物のブランド化、新しい味わいを提案するアイデア料理の創出に取り組んでいます。

Protecting the city's industry by gathering information, combining it with ingenuity, and continuing to push forward.

Industries rooted in the area, from agricultural products like lotus root, to commercial and manufacturing enterprises, each add value and create new opportunities. These serve to connect the city's heritage of pride with the next generation.



伝統、だけじゃない  
地元野菜

愛西市は全国でも有数のレンコンの産地。江戸時代の天保年間が始まりといわれる歴史ある地元野菜です。このレンコンをはじめ、稲作やニンジン、大根などの露地野菜、さらにハウス栽培のイチゴやトマトなども盛んで、都市部に近いメリットを活かし、付加価値の高い農業生産に取り組んでいます。



新鮮なアイデアで  
地元野菜の可能性を  
広げよう！

レンコンなど愛西市産の野菜を、さまざまな食品として商品開発し新たな市場を目指す6次産業化、スイーツや料理のメニュー提案など、地域の人々や高校生たちによる、新しいチャレンジに期待が高まっています。



地域産業の  
提案型情報発信拠点  
「立田ふれあいの里」

「立田ふれあいの里」は、尾張地方で初めての道の駅。地元農家の提案と情報発信の場となっています。市内外から多くの人が訪れる地元でとれた農産物の産直施設をはじめ、特産品試食施設、実演厨房、パン厨房などがあり、特産品を使ったオリジナルメニューが楽しめます。



## A i Report



●小学校での  
出前授業



●ケチャップづくり体験教室



## 安全でおいしい野菜のブランド 「愛西市ぐるぐる農産物」

「愛西市ぐるぐる農産物」は、愛西市のこだわり農家が丹精こめて育てた農産物。愛西市産の農産物のブランド化を進め、市の基幹産業である農業を市内外へ広くPRするために始まりました。有機栽培、減農薬栽培など環境に配慮した農業者が生産した農産物に、専用のラベルを貼って出荷しています。道の駅「立田ふれあいの里」をはじめ、市内および近隣の産直売場で販売しています。

ぐるぐる農産物という名前には、食べた消費者が「おいしい」「感じてもらえること」が農家がさらにやる気になる、めぐるの意味がこめられています。

愛西市の農業を子どもたちにも知ってもらうために、小学生向けの教材「愛西市ぐるぐるスクール」を作成。市内の小学生を対象とした「出前授業」も行っています。また、「愛西市ぐるぐる農産物」の普及と食育を目指した親子での体験教室を開催するなど、さまざまな機会を通して農業や農地の必要性、地産地消、食の大切さなどをわかりやすく伝えています。

こうした取り組みを通して、愛西市産の農産物の消費量の増加、農業の振興、さらに農業という地元産業への理解と食育につなげていきます。